

<研究名称>

熱中症患者の医学情報等に関する疫学調査

<研究申請者>

救命救急センター長 小林 巖

<研究期間>

平成 30 年 7 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日

<研究の目的・意義>

日本救急医学会熱中症に関する委員会による熱中症実態調査であり、原因や病態の解明及び治療や予後の実情を把握し発症の予防に向けた地域医療へのアプローチを検討することを目的としている。

<実施内容（方法）・危険性（副作用）等>

該当期間において熱中症と診断された全ての入院患者を対象とし患者登録シートに入力、ファックスし登録する。

患者の診療録から年齢、性別、来院方法、発生状況、現場でのバイタルサイン、既往歴、生活歴、来院時の所見を入手しこれらを用いる。

入手した診療情報をもとに調査項目に回答する。同様に日本救急医学会指導認定施設、救命救急センター、大学病院ならびに市中の救急部のなかで研究への協力が得られた救急医療施設からも登録が行われ、調査期間終了後に研究主管となる当委員会で集計する。日本救急医学会の規定に基づき承認を得られた機関において解析を行い、発生予防を含めた対策について検討を行う。

<実施責任者・実施に関わる者の氏名>

責任者 救命救急センター長 小林 巖

実施者 麻酔科部長 四十物 摩呼

救急科部長 飛世 文則

救急科医師 橋詰 勇祐

麻酔科医師 児玉 萌、五十嵐 友美、山本 明日香、田中 聡一

<倫理上問題になると考えられる事項、その他特記事項>

なし

<ICのための説明・同意に関すること>

本研究に関連する全ての研究者は「ヘルシンキ宣言」及び「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従い、本計画書を遵守して実施する。

情報公開文書を院内掲示する。また、本人あるいは家族から口頭でICを受けるものとする。カルテにその旨を記載する。

患者情報は匿名化されておりプライバシーには最大限配慮する。インターネット上のウェブサイトとFAX送信の事務処理については、情報管理の安全性を保障するために日本情報経済社会推進協会によってプライバシーマークを付与され、同協会の情報マネジメントシステム推進センターにおける情報マネジメントシステム適合性評価制度にて認証を取得している業者を選定している。

日本救急医学会事務局にて収集された情報を保管し、熱中症に関する委員会で承認された解析担当者に情報が提供される。各解析担当者は所属施設の倫理委員会などの規定に従って情報の保管・破棄を行う。研究終了後は、記録を2019年3月末まで保管した後に紙媒体の資料はシュレッダーにて破棄し、電子データは匿名化した状態で完全に消去する。

<問い合わせ先>

当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ  
〒070-8530

旭川市曙1条1丁目1番1号

旭川赤十字病院 救命救急センター 小林 巖

TEL 0166-22-8111

FAX 0166-24-4648